就実大学大学院・就実大学・就実短期大学の中期目標・中期計画に基づく各部局年度計画及び実行計画と達成状況

部局名（学部又は事務部）： 国際交流センター　　学科名：　　平成29年3月31日

中　期　計　画	中期計画期間中の具体的な取組・実行内容	部局および学科における２８年度計画と実行計画		計画達成状況	担当者評価	学長評価
		平成２８年度計画	平成２８年度実行内容			
		（左欄の具体的な取組・実行内容に基づいて計画する。さらに、新たな取り組み等について計画実行する）	（平成２７年計画の具体的実行内容を具体的に期限やレベルなど数値目標を挙げて定量的に記載する）	年度の中間および年度末に計画の達成状況を評価する。		
［社会連携・社会貢献］ グローバル化を推進すると共に、社会との連携と協力に配慮し、教育研究の成果を広く社会に還元する。	グローバル化促進として、留学生の積極的な受け入れ、さらに外国人研究者活躍の場を広げ、本学の構成員の国際的活動能力の向上を図る。	グローバル化を促進するため、留学生を積極的に受け入れる。	１．大学・短大において留学生受け入れ数値目標としては、毎年5～6名を受け入れ、全校学生数の１％（正規・非正規生を含む20～30名）を目指す。 ２．入試課と協力して、積極的に県内の日本語学校を訪問し、進学説明会に参加する。	1. 外国人留学生を増やすためには、充実した受け入れ制度が必要であり、それに向けてチューター制度を構築している。 2. 岡山外語学院、専門学校岡山ビジネスカレッジにて進学説明会に参加した。岡山外語学院と留学生推薦に関する覚書を締結する予定である。		○